

I. 広東省

1 広州・深セン科学技術イノベーション回廊を香港まで延長

●今年の両会で全国人民代表と全国政協委員会が提出した提案に対し、広東省政府は広東・深セン科学技術イノベーション回廊を香港まで延長すると回答した（7日付「南方日報」1面）。

2 広州市と佛山市がイノベーション産業モデル地区設立で協力

●7日、広州市と佛山市の両政府が「イノベーション発展による戦略枠組み協定」に署名した。両市は153.5平方キロメートルの区域で広佛科学技術イノベーション産業モデル区を建設で協力する。イノベーションモデル地区の場所として、広州南駅エリアの36平方キロメートル、荔湾国際科技イノベーション産業区の17平方キロメートル、東砂エリアの7.5平方キロメートル、佛山禅南順高端イノベーション集合区の約93平方キロメートルである。両市はモデル区内において、科学技術の研究成果の実用化拠点及びイノベーションやスタートアップの育成の共同設立、科学技術関連のリーディングカンパニーの誘致をしていく（8日付「南方日報」5面）。

3 反腐敗にかかる処分

●8日、省紀律検査委員会・監察委員会は江菊蓮・惠州市常務委員兼宣伝部部長を重大な規律違反の疑いで調査中であると伝えた（9日付「南方日報」6面）。

4 テンセントが華南のクラウド基地を清遠市に設置

●8日午前、清遠市政府とテンセントは、テンセント華南クラウド基地プロジェクト投資枠組協定に署名した（9日付「広州日報」9面）。

II. 広州市

1 日本と広州の経済貿易交流マッチング会が東京で開催

●7月29日～8月1日、広州市政府代表団が訪日期間に合わせて、広州市人民政府とJETROによる広州市投資マッチング会が行われ、福岡—広州経済貿易交流会も行われた。30日のマッチング会では、温国輝・広州市長が趣旨を述べ、郭燕・在日本中国大使館公使、水井修JETRO理事がそれぞれ挨拶を述べた。マッチング会には、广汽トヨタ、みずほ銀行広州支店、日本航空広州支店、三菱商事（広州）有限公司の日系企業4社による広州の生活、仕事、投資による発展の心得や体験などを発表した。マッチング会には120以上の日系企業、20名以上の広州市政府関係者、企業代表150名以上が出席した（7日付「広州日報」1面）。

※マッチング会では、トヨタ自動車が新計画として第4の工場建設への投資を検討しており、かつ更に多くの日系部品企業が広州への投資を発展させることを率先すると伝えた。将来的には广汽トヨタがアジアの新エネルギー自動車輸出の生産拠点として、一帯一路へ貢献すると述べた（7日付「南方日報」9面）。

3 広州市中級人民法院が台湾籍の仲裁員を招聘

●7日、広州市中級人民法院は20名の台湾籍の仲裁員を招聘し、広州市裁判所管轄権の民事商事案件の仲裁に関与する（8日付「広州日報」4面）。

III 深セン市

1 広州市視察団が深センを視察

●9日、広州市視察団が深セン市の改革開放イノベーションの促進、都市建設の発展状況などの方面を視察・研究した。視察団一行は天安雲谷、金展珠宝広場、テンセント、前海蛇口自由貿易エリア、中芬設計園、深セン市都市運行管理センター等を視察した。王偉中・深セン市党書記が張碩輔・広州市党書記率いる視察団と会見し、視察を共にした。陳志英・広州市副市長、潘建国・広州市党秘書長、蔡朝林・広州市党常務委員、馬文田・広州市副市長、劉慶生・深セン市党常務委員兼副市長、高自民・深セン市副市長も活動に参加した（10日付「深セン日報」1面）。

※天安雲谷は深セン市の「特区拡大モデル区」で、深セン特区内外の一体化や産業構造のグレードアップ戦略のもと、深セン市政府と竜崗区政府が坂田ファークウェイエリアに22平方キロメートルのファークウェイ科学技術城建設を計画されている。将来的には深セン市で最も富を引きつけ、産業の中核の一つとなることを目指す。

2 深セン空港の国際旅客数が前年同期比 37.4%増

●今年上半期の深セン空港の旅客者数はのべ2,400万人を超え、前年同期比10.6%増となった。国際線利用の旅客者数は前年同期比37.4%増となった（10日付「深セン特区報」1面）。

IV. 福建省

1 今年上半期の農産品輸出規模は48億米ドル

●今年上半期の農産品輸出規模は48億米ドルに達し、前年同期比16%増となった。全国3位の規模（7日「福建日報」4面）。

V. 広西チワン族自治区

1 4～6月の平均給与額は4,615元

●3日、今年度の第二期広西人材ネットシステム給与報告が公布された。ネット上の求人による平均給与は4,615元/月で前年同期比2.03%増だった。求職者が希望する給与の平均額は4,438元/月であり、前年同期比7.73%増だった（6日付「広西日報」6面）。

VI. 海南省

1 彭金輝・海南省副省長が日中投資促進機構事務局長一行と会見

●7日午前、彭金輝・副省長は、島原信治・日中投資促進機構事務局長率いる日本企業の視察団と海口市で会見した（8日付「海南日報」1面）。

2 海南省投資環境説明会による一対一のビジネスマッチング会（日本企業）が開催

●7日、海南省商務局は、海口市で海南省投資環境説明会および現地企業と日系企業の一対一のビジネスマッチング会を開催した。日本企業は海南省の様々な機関から投資環境の説明を受けた後、海南省の海馬自動車、威特電気等7社と一対一の対談を行った。日本企業からは、日通（中国）、みずほ銀行（中国）、三井物産（広東）等15社20名が参加した（8日付「海南日報」1面）。